

大阪高等学校体育連盟バドミントン専門部 シード基準 学校対抗の部

2010年3月30日

シード数

当面男子8校、女子16校とする。

シード基準

春の大会

1. 前年度夏の大会の、男子はベスト8、女子はベスト16（※2011年春の大会より適用）

夏の大会

1. 春の大会の、男子はベスト8、女子はベスト16

※（春夏共通）同一レベル内でのシードは、より上位の学校に負けた学校の順にシードする

（例）ベスト8の中で、優勝校に負けた学校：第5シード、準優勝校に負けた学校：第6シード…など。

※ 申込時に行う抽選で、若い番号順に学校を並べ、上記シードした次のシード番号から順に振っていく。それにより、各校の場所を決める（左上から若い番号順にいれるわけではない）

大阪高等学校体育連盟バドミントン専門部 シード基準 個人対抗の部

2010年3月30日

ここでは、グレード(G)と、ランキングポイント(P) という用語を使用します。

グレード(G)の値は、小さいものほど上位。

ランキングポイント(P)の値は、大きいものほど上位 となります。

グレード・ランキングポイントの与え方に対しては最終ページの表を参考のこと。

★シングルス I 部

下記「ドロー作成時の留意事項」に注意しつつ、次の順位でシードする

※春の大会については、1の前に近畿大会ベスト8以上のものを優先シードする。

1. 前大会のグレード(G)の小さいもの
2. 1.が同じ場合
過去1年間のランキングポイント(P)の合計が大きいもの。
3. 1.2.が同じ場合
・対象となる選手が同一校の場合、申込書の校内ランクの順にシードする。
4. 1.2.3.によっても、シード順が判然としない部分については、
ドロー作成者（専門部）による抽選等により適宜決定する。

★ダブルス I 部

下記「ドロー作成時の留意事項」に注意しつつ、次の順位でシードする

※春の大会については、1の前に近畿大会ベスト8以上のものを優先シードする。

1. グレード(G)の小さいもの
2. 1.が同じ場合
過去1年間のランキングポイント(P)の合計が大きいもの
3. 1.2.が同じ場合
・対象となるペアが同一校の場合、申込書の校内ランクの順にシードする。
・対象となるペアが同一校でない場合、組み替えていないペアを上位とする。
4. 1.2.3.によっても、シード順が判然としない部分については、
ドロー作成者（専門部）による抽選等により適宜決定する。

★Ⅱ部、および夏の大会の3年生の部（ダブルス・シングルスとも）、
下記「ドロー作成時の留意事項」に注意しつつ、次の順位でシードする

1. I部から下りてきた者も含め、
 - ①前大会のランキングポイントの大きい順
 - ②①が同点の場合、過去1年間のランキングポイントの合計の大きい順にシード順を決める。
 2. ダブルスについては各々のダブルスポイント合計をそのペアのランキングポイントとする。組み替えた場合も同様とする。
 3. 1.2.が同じ場合、対象となる選手が同一校の場合、申込書の校内ランク順とする。
- ※グレードに関しては考慮しない。

ドロー作成時の留意事項

- ・同一校のシードについて（Ⅱ部はシードおよび校内ランク）
1. 同一校のランク1位・2位は、2分の1のブロックに分ける。
 2. 同一校のランク1位～4位は、異なる4分の1ブロックに分ける。
 3. 同一校のランク1位～8位は、異なる8分の1ブロックに分ける。
- ・ダブルのペアは異なる4分の1ブロックに分ける。（I部のみ）
- ※この留意事項に基づき、シード順通りにドローが作成できない場合は、ランク下位のものを動かすものとする。

※(シード決定に関する確認事項)～重要ポイントの確認

- グレード(G)がシード決定の第1条件である。ランキングポイント(P)は同グレードの場合に使う。
- 前大会でI部に出場していたもの（ベスト32以上）は、Ⅱ部の入賞者（ベスト4）よりも上位にシードされる。（下記補足事項による）。
- ダブルスのシード決定時にシングルスの実績が反映される場合は以下の通り。
 - ・ダブルス組み替え時のグレード計算をする場合、シングルスグレードも用いる。
 - ・ダブルスのランキングポイント計算で、過去3大会でダブルスの出場がない場合、シングスルのランキングポイントを用いる。
 - ・全中でダブルスに実績がなく、シングルスで実績を上げている生徒が1年生春の大会でダブルスに出場する場合、シングルスの実績に応じてグレード・ランキングポイントを用いる。

グレード(G)表 ※種目ごと。

G(-3)	近畿大会優勝	ダブルスの組み替え時のグレード計算 それぞれのプレーヤーの前大会時のダブルスのグレード(G)と、シングスルのグレード(G)のすべての和を4で割り算出するものとする。 例： Bさん D：ベスト4 S：ベスト8 Cさん D：準優勝 S：ベスト8 の場合、左表により $(3+4+2+4) \div 4 = 3.25$ となるので、 B・C組のグレード(G)は、3.25 となる。
G(-2)	近畿大会準優勝	
G(-1)	近畿大会ベスト4	
G(0)	近畿大会ベスト8	
G(1)	前大会I部優勝	
G(2)	前大会I部準優勝	
G(3)	前大会I部ベスト4	
G(4)	前大会I部ベスト8	
G(5)	前大会I部ベスト16	
G(6)	前大会I部ベスト32	
G(7)	前大会I部上記以下	

ランキングポイント(P)表 ※種目ごと

春・夏の大会		冬の大会		近畿大会	
I 部優勝	100P	I 部優勝	60P	I 部優勝	150P
準優勝	80P	準優勝	50P	準優勝	120P
3 位	60P	3 位	40P	3 位	100P
5 位	40P	5 位	30P	5 位	80P
9 位	20P	9 位	20P	9 位	10P
17 位	10P	17 位	10P	17 位	5P
33 位	5P	33 位	5P	※近畿大会のポイントは、 9 位以下についてはプラス アルファと考える。	
II 部優勝	10P	II 部優勝	10P		
準優勝	8P	準優勝	8P		
3 位	6P	3 位	6P		
5 位	4P	5 位	4P		
9 位	2P	9 位	2P		
17 位	1P	17 位	1P	※女子の部のみ	
33 位～64 位	0.5P	33 位～64 位	0.5P		

ダブルスのランキングポイントについて

- ・ダブルスのランキングポイントは一人一人に与え、ペアの合計をもってダブルスのランキングポイントとする。(組み替えを考慮した措置)
- ・過去 3 大会中、ダブルスの出場がない場合、シングルのランキングポイントをダブルスのランキングポイントとする。

グレード(G)、年間ランキングポイント(P)に関する補足事項

- ナショナルチーム・協会チーム等の遠征に伴っての前大会欠場の場合
前々大会成績のグレード・ランキングポイントを用いる
- 病気・申込忘れ等による欠場の場合
前々大会成績のグレード・ランキングポイントを用いるが、グレードの値は 1 大きくする。
- 中学時代の実績については、1 年生春の大会時のみ、次のとおり、グレード(G)、ランキングポイント(P)を与える。

成績	グレード(G)	ランキングポイント(P)
全中・全日本ジュニア 3 位以上	0.5	70P
全中・全日本ジュニア 5 位	2.5	45P
全中・全日本ジュニア 9 位	4.5	25P
全中・全日本ジュニア出場	5.5	15P

- ※シングルの実績については、ダブルスの実績がない場合、ダブルスの実績として適用する。
- ※ダブルスの実績については、シングルの実績としては適用しない。

- 前大会の II 部入賞者
G(6)の最下位にランクする。
- 夏の大会について
春の大会に出場した 1 年生の年間ランキングポイントは、2 倍して扱うものとする
(上級生の 3 大会分のポイントに対して、1 年生は 1 大会分しかないため)
- 冬の大会について
春に I 部登録で出場し、夏に II 部出場、もしくは出場のない者で、冬の大会に出場する者については、春のグレード(G)、ランキングポイント(P)をそのまま反映させる。

ドロー作成時における作業手順 および 留意事項

2010年3月30日

常任委員全員がこのドロー作成ルールを熟知し、実際にその作業に当たることができる必要がある。
できれば、所属生徒がいない種目の担当になることが望ましい。
そのためにも、誰が作成しても同じものができるようなルールおよび作業手順の再確認と修正が必要である。

1. 前大会のⅠ部単複の前資料とⅡ部単複上位およびランキングポイント表を準備する。

2. 前大会の順位等を参考にランキングを作成する。

- ・参加人数および参加選手の確認
- ・前大会（近畿大会および前々大会を含む）の成績を確認。
- ・新人（配慮を要する選手）の確認
- ・ダブルスにおいては、組み替えおよびⅠ部初ペアの計算をする必要あり。
- ・ランキング表ができあがったら、第3者にチェックしてもらう。

3. ドロー作成

- ・人数にあわせたトーナメント表の作成
- ・シード基準にあるルールに従ってドローしていく。補足事項にも注意。
- ・トーナメント表ができあがる。
- ・出場者一覧に、シード番号を記入する（印刷原稿を作成するのにあれば便利）

4. できあがりチェックする

- ・ダブルスのペアや同一校のブロックごとの偏りがいないか
- ・できあがったトーナメント表をボードに貼りだし、情報をオープンにする。

履歴

- ・ 2010.3.3. 常任委員会にて、学校対抗の部春の大会に於いて、前年度ベスト4のシード条件を削除
2011年度の春の大会組み合わせ作成より適用。